

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 愛媛県 】

学校名【 宇和島市立三間中学校 】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	全校生徒 134名（講演会は地域住民・保護者21名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (保健体育)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 (講演会)</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	2020年パラリンピック東京大会に向けて、スポーツのもつ楽しさや価値を学習し、体験することにより、インクルーシブな社会の形成者としての資質・能力の育成を図る。
5 取組内容	<p>(1) 全校学習会（保健体育） 日時：令和元年11月6日（水） 4校時 スポーツ庁からの「オリンピック・パラリンピックに関する映像資料」を観て、オリンピック・パラリンピックの意義・歴史を学び意欲付けを図る。</p> <p>(2) 講演会及び体験学習 日時：令和元年11月13日（水） 5, 6校時 愛媛車椅子バスケットボールクラブ所属の國本司様をお招きし、「障がい者スポーツから学ぼう」の演題で講演会を実施した。その後、國本様を含めて4名の車椅子バスケットボール競技者による体験活動を実施した。地域住民・保護者21名が参加した。</p>



講演会の様子①



講演会の様子②



車椅子バスケットボール体験活動①



車椅子バスケットボール体験活動②

(3) 障がい者スポーツ体験

日時：令和元年12月10日（火） 5, 6校時

パラリンピック種目3つを含む計6種目の障がい者スポーツを体験した。愛媛県スポーツ振興事業団より3名の講師をお招きし、本校職員と協力して、1種目20分ずつのローテーションで全校生徒が体験した。



風船バレー



ボッチャ



ゴールボール



アキュラシー



ブラインド卓球



ブラインドサッカー

<p>6 主な成果</p>	<p style="text-align: center;">「生徒の感想より」</p> <p>「講演会 車椅子バスケットボール体験」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 心のバリアフリーへの関心が高まった。(物理的バリアフリーと比較して) ○ 自分を含めて、声を掛け合い、助け合うことを広げようとする生徒が増えた。 ○ 車椅子バスケットボールが、障がい者のみのスポーツではなく、全ての人を楽しめる種目であることに気付いた。 ○ 支える側と支えられる側は一方通行ではなく、立場が反対になることも普通にあることを発見した。 <p>「障がい者スポーツ体験」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 障がいの有無に関わらず、誰でも楽しめることが理解できた。 ○ どの種目もみんなで助け合い、楽しさを分かち合うことができた。 ○ 今回の体験で、興味の無かったパラリンピックに関心をもつことができた。 ○ 障がいがある方の不安や不便さを知ることができた。特に「見えない」ということは、強い恐怖を感じた。 ○ 体験した中から3種目はパラリンピックの種目なので、来年ぜひ観たいと思った。
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>本校には、3年男子生徒1名が、車椅子バスケットボールの選手として活動している。彼の所属チームの方に講演してもらうことにより、全校生徒が、障がいについて、より身近に、より現実的に考えを深めるだろうと想定し、そこを切り口とした。</p> <p>6種目の競技を準備することにより、134名一人一人が十分体を動かし、スポーツの特性を味わわせるようにした。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>車椅子バスケットボールを体験させる際には、できる限り多い車椅子の数、及びコートの方々が必要である。</p> <p>障がい者スポーツを体験させる際には、たくさんのアイマスク、車椅子、ボッチャ等の用具が準備できれば、生徒がより楽しくスポーツの特性を体験できる。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>パラリンピック東京大会の観戦を積極的に呼び掛ける。特に自分たちが体験した種目に注目し、感動したり印象に残ったりした場面や選手に関して、レポートを作成させる。そして、その発表会を行ったり、文化祭において、レポートの展示コーナーを設営したりして、生徒間で共有するだけでなく、地域住民への啓発の場としたい。</p> <p>車椅子バスケットボール選手である卒業生に母校を訪問してもらい、体験報告会を開きたい。</p>